

『自信と確信を持ち闘いの先頭へ』確認



87. 2. 6

No. 2471

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

1/31 青年部全支部活動者会議で 闘いの意志統一かちとる

すべての組合員のみなさん！
青年部は一月三十一日、千葉市民会館において、五二名の参加のもと、全支部活動者会議を開催しました。今後の動労千葉のたたかいをけん引すべく、青年部が闘いの先頭にたつため全支部の役員・活動家が集まり、全体の意思統一をして、より強固な団結をかちとりました。

激動の時代こそ

青年部の力が必要だ！

まず午前のは、労働運動研究家の浜田さんを講師に、世界の情勢とそれに伴う戦争の危機について『世界恐慌と戦争の危機は歴史上のことではなく、今現実になりつつある』こと、日本経済の不況と戦争国家化について、国鉄労働運動について、分割・民営化の破産性は明らかなこと、また、新たな労働運動の時代に入っていることなど、歴史上のことなどをまじえ講演を受けました。

午後からは、布施書記長を講師に講演を受けました。前段に『いままでのたたかいに確信を持ち、青年部がこれからのたたかいの先頭になること、そしてそれを自分のこれからの人生の糧にして欲しい』と訴えました。

『今、分割・民営化をめぐる攻防は最終段階に突入し、いまこそ国鉄労働運動の真価が問われている。日帝中曽根体制と真に対決する労働運動の創造、生産点の苦闘に責任を持つ労働運動を』と、青年部の面々に熱く語り、そして、たたかいの経過と情勢、国鉄決戦をいかに闘うのか、組織強化と拡大、われわれはたたかいに勝利していること、二／三月の攻防が文字どおりの決戦であること、なによりも『動労千葉・動労総連合が国鉄労働者の利益を真に守り得る唯一の組織として、飛躍・拡大しなければならぬ』

と訴えました。

最後に『青年部が自信と確信を持ってたたかいの先頭にたつて欲しい』と結びました。

分割・民営化絶対阻止！
青年部は鉄の団結を！

この会議の基調として、新藤青年部長から提起を受けました。

- ① 三里塚二期とならび、国鉄分割・民営化攻撃―戦争国家体制づくりとの一大決戦であり絶対に負けられない。
 - ② 分割・民営化をうち破る組織攻防戦に勝利しよう！
 - ③ 動労千葉の昨年たたかいは、国鉄労働運動絶滅攻撃を粉碎した。
 - ④ 勝負はこれからだ！ 動労千葉のたたかう鉄の団結を！
- の提起があり、全体で確認しました。
討論では、『国労脱退者への連日のオクルグによつて五人を復帰させた。また、これからもつと復帰させるようにガンバル』『脱退者を出さないようにする。また、裏切り者は絶対に許さない』『中曽根体制を打倒するため三里塚農民と共にたたかう』『昨年二波のストをたたかいぬき、勝利してきた。今後自信を持ってたたかひぬく』など多くの意見や決意が述べられ、最後に新藤青年部長の団結ガンパローで大成功のうちにおわりました。